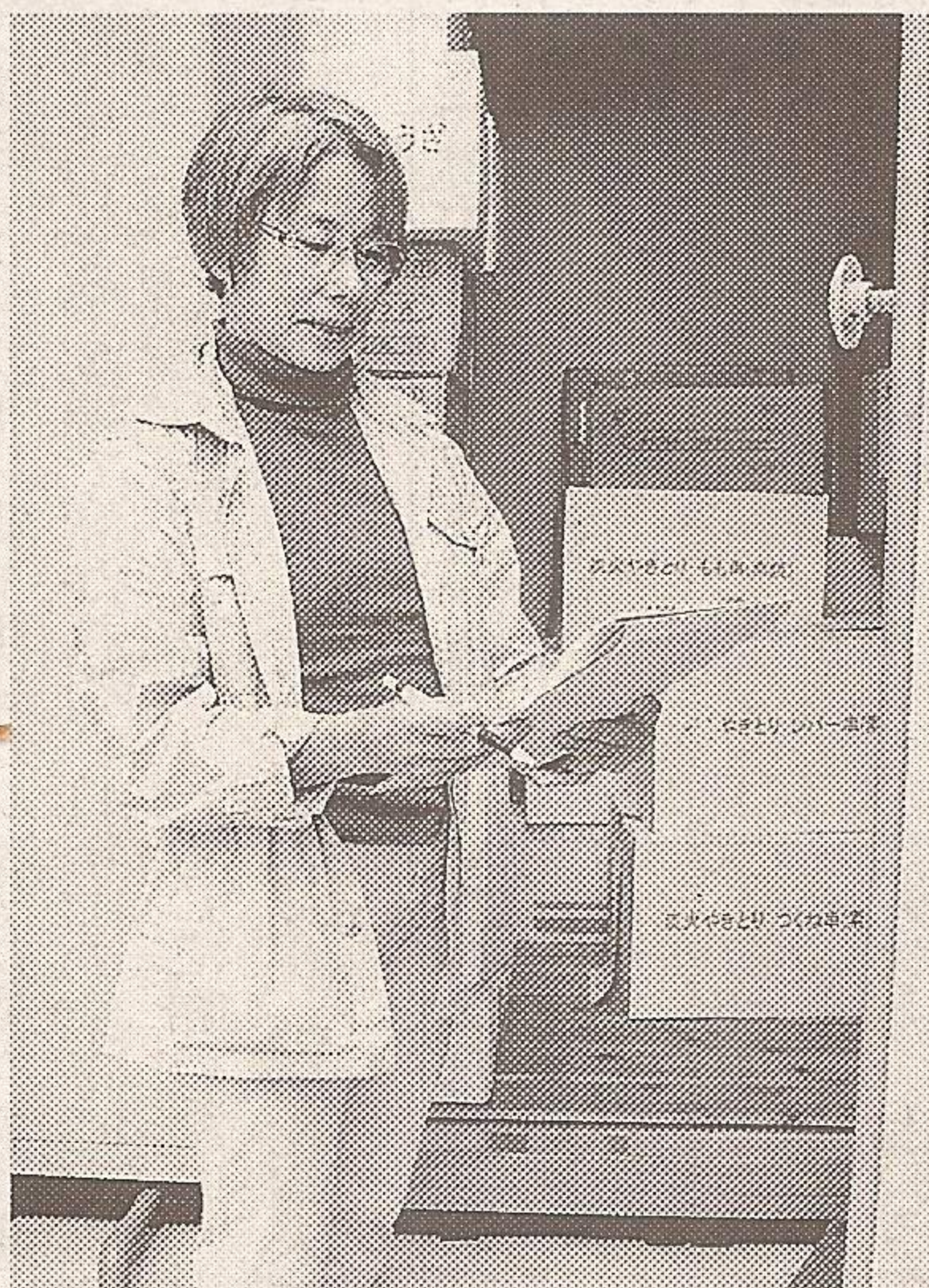


包装に傷

# 廃棄の食品

## もったいない



事務所に設置した冷蔵施設で食品のチェックをする浅葉さん＝兵庫県芦屋市呉川町で

阪神地域や神戸市のスーパー、食肉加工商社など計6社から食品を提供してもらえようになった。客が誤って包装を傷付けたり、輸入時の抜き取り検査のために箱を開けられた冷凍食品などで、安全性に問題のないものばかり。集めた食品は、大阪市西成区のホームレス支援団体や阪神地区のドメスティックバイオレンス(DV)被害者の避難施設など計26カ所に無償配布している。

包装が傷んだだけでまだ食べられる米やパン、加工食肉などをスーパーなどから引き取り、ホームレス支援団体などに提供する「フードバンク運動」に、兵庫県芦屋市のNPO法人「フードバンク関西」が取り組んでいる。

ドバンク運動の話聞いたのがきっかけ。03年4月に食品を配布する活動を始めた。関西の企業約200社に協力依頼の手紙を書き、現在、

芦屋市の主婦、浅葉めぐみさん(59)が02年夏、市内に住んでいた米国人男性に、フードバンクの話を聞いた。芦屋市の主婦、浅葉めぐみさん(59)が02年夏、市内に住んでいた米国人男性に、フードバンクの話を聞いた。

### ホームレス支援団体などへ

の糧を捨てていいのかと長年、気になってい

た。ぜひご協力を」と呼びかけている。問い合わせは、同NPO芦屋事務所(芦屋市呉川町1の15、0797・34・8330)。

【井上大作、撮影も】

ただで約70トンの食品を運ん

【井上大作、撮影も】